一般質問

令和２年６月２２日、２３日の２日間で行われました。

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。

伊達市における新型コロナウイルス対応の現状について

令和みらい　小倉（おぐら）　拓（たく）

質問▼新型コロナウイルス感染症被害等の現状把握は。

答弁▼伊達市において現在のところ感染者の報告はなく、市民の皆様が感染予防に努めていただいているものと認識している。

質問▼新型コロナウイルス感染症に対する具体的な対応は。

答弁▼感染症については、法的な制度設計として、都道府県が主体となり対策、対応を検討し、市はその要請に応じ、適宜協力するものとなっている。その前提の上で、北海道から情報を収集している。

質問▼第２波に対する備えは。

答弁▼国や北海道が示す基本的対処方針等に基づき、対策を講じていく。

質問▼アフターコロナについてどう考えるか。

答弁▼新型コロナウイルス感染症が終息した際に、今回の経験をもとに、新たな感染症の発生に備える。

●その他の質問

南大通外１街路整備について
街路樹等の整備管理について

「館山橋」整備も質問しました

新型コロナウイルス感染症対策について

無会派　洞口雅章

質問▼新型コロナ感染症対策として伊達商工会議所に対して行った経済対策事業補助金3億3千万円の事業実績と今後の計画について問う。

答弁▼飲食店支援の緊急つなぎ給付金事業や、売上が落ち込んでいるが国の持続化給付金の対象外となっている事業者への支援等を実施してきた。

今後については会議所と協議をし、プレミア率30％以上の商品券発行や観光・宿泊業支援等を実施し、地方創生臨時交付金を活用していく。経営状況実態調査等を継続実施していくが、当市の経済構造上、税収への影響は緩やかと予測している。

質問▼今秋以降に新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの流行が重なった場合の対策として、インフルエンザワクチン接種は重要と考えるが対策を問う。また13歳未満児は二回接種が必要で数千円と負担が大きい。支援をすべきと思うが考えを問う。

答弁▼インフルエンザ感染や重症化を防ぐためワクチン接種を広報誌や新聞折込み等による周知を行っていく。市としては13歳未満児への経済的支援は考えていない。

コロナ対策に取り組む商工会議所

新型コロナウイルス等の対応状況について

令和みらい　佐藤匡則

質問▼保健センター等への相談状況はどのようになっているか。

答弁▼135件となっている。

質問▼陽性患者が発生した場合の対策はどう考えているか。

答弁▼北海道が調査・指導等の対策を講じることになっている。

質問▼障がいや、介護などといった垣根を越えた連携として、施設同士の職員の調整機関として行政が間に入るといったことはできないのか。

答弁▼国と市町村が一体となって二次医療圏単位で、保健所と市町村が一体となって一つの組織として運営することが大事であると考える。

入所施設での衛生管理

新型コロナウイルスの対策と取組

公明党　渡辺雅子

質問▼本市におけるＰＣＲ検査は行わないのか、市内医療機関で感染者の受け入れを考えているか問う。

答弁▼ＰＣＲ検査は単独で実施することができないため、検査予定はない。「感染症対策事業費補助金」で、感染疑いの患者のため病床を６床確保する財政支援を行う。

質問▼熱中症の予防と指導特に低学年についての対応はどのように考えるか問う。

答弁▼特に低学年はマスクの着脱や水分補給の指示、健康面では熱中症の予兆を見逃さないよう指導している。
　換気についても、各クラスに扇風機を設置し風の流れを作るなどの工夫をする。

質問▼「北海道版避難所マニュアル改正」に伴いマスク等の準備や避難所の隔離対策をどう考えているか問う。

答弁▼現在使い捨てマスク５０００枚備蓄している。消毒薬など感染対策用品について計画的に備蓄する。
　感染疑いの方の隔離は、専用スペースや隔離区域をパーティションやビニールで区切るなど対応する。

熱中症対策と換気の重要性

空き家対策・土地活用について

公明党　大光力

質問▼これまでの課題・問題点について問う。

答弁▼平成30年度から、空き家除却費・改修等補助金による支援を行っており、一定の成果があると認識している。
　一方で、空き家を適切に管理していただけない所有者への対応が問題である。

質問▼現在の窓口としての対応について問う。

答弁▼空き家の適切な管理や利活用に向け、空き家の売却や解体又は、相続などの相談ができる専門家を紹介している。

質問▼今後の展望について問う。

答弁▼北海道空き家情報バンクとの連携について進める中で、令和元年度の空き家戸数調査をもとに、活用意向調査を行う準備を進めており、その結果も併せ、対応して参りたい。

●その他の質問

所有者不明土地の利用について

増えつづける伊達市の空き家

伊達小学校前庭の管理・火葬場運用管理について

令和みらい　荒井秀樹

質問▼前庭伐採の経緯、環境教育への配慮、今後の活用について問う。

答弁▼近年、台風や強風等で枝木が飛散し、近隣住宅や児童に被害を及ぼす可能性が指摘され、落ち葉が散乱する苦情も多く寄せられていた。

伐採に関しては周知が足りないこともあったが、安全を最優先として危険回避のため3月に作業を行った。環境教育については周辺地域で身近な自然に触れて学んでいるので、問題ないと考えている。

今後は、長寿命化計画に基づいた校舎の改修に併せて、敷地内の活用策や整備を関係者と協議しながら進めていく。

質問▼現火葬場の問題点、令和3年3月より供用開始の新火葬場の運用管理について問う。

答弁▼火葬場は42年経過しており、老朽化も著しい。段差が多いなど現基準を満たしていないと認識している。

現在は2名体制で管理しているが、火葬件数が多い日、会葬者が多い場合の対応などが課題。今後の維持管理も同様に業務委託と考えているが、遺族の心情に配慮した運営を要請して参りたいと考えている。

詳細は運営を担う西胆振行政事務組合で検討していく。

安全管理のため整備された伊達小学校前庭

新型コロナ経済対策・学校教育について

無会派　吉野英雄

質問▼市の経済対策は、国の持続化給付金から外れた中小企業を救済するもので、取組みは評価する。持続化給付金は遅れが指摘されているが。

答弁▼伊達信金など市内3行が対応と承知している。

質問▼6月に、新型コロナから学校が再開された。どの様に授業時数を確保するのか。

答弁▼6月15日から8月7日まで「授業速度修正期間」として小学校1コマ35分、中学校は同40分、1日最大で7コマ、週最大35コマで対応する。

質問▼子ども・教職員とも負担が大きい。文科省は次々年も見据えて進めることも通知しているが。

答弁▼様々な意見がある。再開にあたり、学びの確保にベストはなく、よりベターを求めたい。

学習の新しいかたち